

第10回 釜石市新市庁舎建設検討委員会結果概要

日 時 令和2年6月12日（金）15時25分から17時20分

場 所 釜石市役所第4庁舎第7会議室

議 題 議案第1号 新市庁舎のイメージ図及び配置図等について
議案第2号 新庁舎建設に係る各工事について
議案第3号 「求められる機能」について
議案第4号 今後の予定スケジュールについて
議案第5号 その他

出席者 《委員》

石垣委員、岡道委員、柏木委員、柏館副委員、川崎委員、菊池委員、佐久間委員、
佐々木（光）委員、佐々木（耕）委員、澤田（龍）委員、澤田（政）委員、柴田委員、
畠委員、山崎委員

《事務局》

野田市長、窪田副市長、佐々木総務企画部長、藤井室長、山本補佐、洞補佐、石毛主任

欠席者 《委員》 橘内委員、矢浦委員

《アドバイザー》 南 正昭 岩手大学理工学部教授

協議内容

事務局より、基本設計の概要を説明するとともに、台風第19号の災害、日本海溝・千島海溝地震津波のシミュレーションが出たところで、以下について提案したもの。

- 外構部分で庁舎棟東側の駐車場と記念碑南側の緑地を入れ替え
 - ・台風19号災害を教訓に庁舎敷地部分を若干高くし庁舎に流水が入ってこないような形を作る。
 - ・仮に沢から溢れると記念碑付近に水が流入し、地面が洗われる状態となり、土が流されグレーチングや側溝マス目を塞いでしまう要因となる。このため緑地と駐車場を入れ替えて、舗装して泥が引きずられないような形を確保。
 - ・南東角地にある駐車場2を道路より若干低くし、万一、土砂が流れてきた場合でも、土砂を溜めるような仕組みとし土砂を流さずに水だけ流すようにする。
 - ・緑地を建屋側に配置したことにより、緑地とみんなのホールを合わせ公園的な利用として、一体的にすることにより活動できるスペースを確保。
- 2階会議室と4階教育委員会執務室の入れ替え
 - ・会議棟として会議室の確保とを考えていたが、日本海溝・千島海溝地震津波の発表を受け、4階にある教育委員会を2階に、2階にある会議室を4階に配置し、安全な位置に会議室を配置し、住民がより安全な位置に避難できるような場所を確保。

- 【委員】 釜石市はどの津波を想定して事業を行なっているのか。日本海溝・千島海溝大地震について詳細が発表されていない中で、考慮していくのか、このまま検討していくのか。
- 【市長】 内閣府では日本海溝・千島海溝地震津波の検証を実施し、地震津波が来る可能性が非常に高いという事であった。防潮堤や防波堤が破壊されたときの最大で最悪の状況のシミュレーションをしている。釜石市は、東日本大震災クラスに対応したまちづくりをしてきた。今後、岩手県で実施するが、東日本大震災クラスの津波が来た時にどうなるのかということを検証しなくてはならない。そのような中、浸水しない想定で進めてきたが、浸水する可能性もあるということ。浸水しても、数十センチ、大きくても1~2メートルという数字ではないかと考えており、現時点では引き続き設計は進めさせていただきたい。しかし、今後情報が出るたびに、引き続き議論をしていかなければならない。
- 【委員】 配置が変わったが、これまで、4つの基本方針の中で進めてきた。それは整合性があった効果があるとして進めてきたところ。それが変わるとなると、これまで進めてきたものと何が違って、何かメリットがあるということであればお願いしたい。
- 【事務局】 日本海溝・千島海溝地震の詳細が出ていない状況であるが、今のタイミングであれば、入れ替えの余地があり提案して考えを伺いたいと思ったところ。避難機能としてより安全性を確保できればということである。みんなのホールとの連動性というところは、調整しているが、引き続き検討をさせていただきたい。
- 【副委員長】 2階のL型の会議室を移して執務室に使うということで、このように変えた理由は何か。変える理由をしっかりと公表しておくべき。
- 【事務局】 安全面ということは最優先であり、市役所は、行政手続きを行なう所で、手続きに来た時に1階で多くの部分を済ませることができる。来庁者が相談や申請等を出来るだけ同じエリアで済ませることが、防災とあわせて庁舎をひとつにした大事な部分ではないかと考えている。
- 【委員】 庁舎脇の駐車場は、災害時は自衛隊・消防スペースという機能があった。緑地とした場合、その機能は確保できるのか。内水氾濫、土石流については以前から出ていたと認識している。会議棟は、1階ピロティで2階に教育委員会の執務室があるだけであれば、会議棟を南側へ出すよりも庁舎棟を大きく作ったほうが良かったのではないかと。もう一度検討していただきたい。
- 【市長】 この緑地については、以前からご意見等をいただいていた。結論から言うと、一つは洪水対策もできる。もう一つは公園を入れ替えた方が、市役所に来た子供も遊べるスペースができ、また広がることで非常にいい形になるのではないかと。L字型2階の市民スペースが使えない分を下で確保する事が幾分かはできるのではないかと考えたと

ころ。昨今の災害の状況、或は新型コロナウイルス感染症の状況を見ると、新しい生活様式の中で避難場所は、同じ面積でも避難者数が限られてくるということになる。そのようなことも考えていかなければならない。いずれ安全な高いところで避難をするということで、ご理解をいただければと思っている。しかし、これで確定ということではないので、皆様から意見を聞いて固めながら、また、議会等に諮りご意見を伺って市民の皆様の理解を得られるような形にさせていただければと思っている。

【委員】 駐車場の部分の緑地は、天神児童公園を含めた緑地なのか。公園とした場合には、公園法に基づく面積が妥当になっているのかどうか。

【事務局】 緑地部分は天神公園の代替えの一部であるという認識である。都市公園法に基づかない自由度の高い形での公園として考えている。天神公園の従前は1,200㎡あった。こちらの緑地は700㎡ということで、基本的には都市公園という位置付けとした面積を変更するからには、それ相応の面積を確保しなければならないということは認識しており、庁舎1階のみんなのホールと合わせて使えればということ。一方で、天神公園が北側に移っているという状況があるので、復興事業で整備した東部地区、現庁舎の跡地を含めた防災空地として活用を図るという位置付けもある中、天神公園の代替え機能を含めた検討を進めたいと考えている。

【委員】 この庁舎を建てることについては、委員全員で環境整備ということを申し入れ新庁舎の建設に同意した。台風19号においては大きな災害になったが。

【副委員長】 環境整備は大前提だと思う。天神の沢の上流部は土砂災害警戒区域に一部入っている。どういう防災対策が組まれそうなのかという情報提供をしていただければと思う。

【事務局】 防災対策だが、土砂災害対策の根本となる事業として、岩手県が実施する、天神の沢(3)・(4)の砂防事業が調査に入っている状況である。他にも市の災害検証委員会において、天神の沢(3)・(4)も必要な対策をまとめている状況であり提言される予定である。採択して実施するかというところは今後の検討だが、いずれ安全対策・災害対策は積極的に行っていきたいということは、市として認識しているので、確実に対策を講じる予定である。

【委員長】 平成29年8月8日に提言している項目の中に新庁舎の建設場所について、天神町の旧釜石小学校跡地とするが、「建設地の東側の市道只越天神町線交差点の信号機設置を含む改良は必要。」「水害への備えとして排水対策を考えなければならない。」「建設地へ複数の道路からアクセスするための市道天神町3号線の改良。」これらは要望事項の中に入っている。公園に関して、道路を横断して公園にというのは危険と考える。また災害対応については地盤をレベルアップして土砂が入らないような公園法に基づかない公園緑地にし、駐車場と入れ替えをしたいということだが、この案について如何か。

- 【各委員】 はい。
- 【委員長】 2階と4階の変更の件についてだが、この件について。
- 【委員】 コンセプトも凄く大事なことだが、教育委員会の実態として、小さい子を連れて手続きをしたり、またいろいろな方が出入りし、教育という現場に直接つながるような業務をしているので、入れ替えても良いと考える。
- 【委員】 4階に教育委員会がある場合、子供連れの方はエレベーターを利用し降りるとすぐだが、2階だとエレベーターを降りて歩かなければならない。これはその動線も考えて決められたのか。
- 【委員長】 一つは2階が教育委員会というのは、「ある程度利用する上では利便性があるのでは」との考え方。もう一つは、「議論して決めたことに対して、そう簡単に変えていいのか」という考え方。この件に関して事務局は教育委員会とも話し合いをしたのか。
- 【事務局】 こちらについては、内部の協議を十分に行い、それで事務局案という形で示させていただいた。動線についても検討のうえで提案させていただいた。これまでご検討をいただいた中で、決まってきた事項ではあるが、台風災害、津波災害とこの1年間で検討要素として出てきた中で、対応出来るところがあれば考慮しながら、皆様の意見を伺ってから固まった段階で進めさせていただきたいと考えている。
- 【委員長】 いずれにしても今回の説明が途中と見受けられるので、実施設計に支障をきたさない程度で喫緊にもう一度議論することとし、委員会を開けないか。
- 【事務局】 調整させていただき、またあらためて打ち合わせをさせていただきたい。
- 【委員長】 今日の活発な意見を踏まえた中で、もう一度行政に考えていただき、次の機会に皆様からもご意見を賜りたいと思う。本日はありがとうございました。

以上